

川口市子ども・子育て支援事業計画(案) パブリック・コメント意見募集結果

資料3

意見募集期間 : 平成26年12月15日(月)～平成27年1月13日(火)			
意見提出者 : 6 人			
意見件数 : 30件			
意見の概要	件数	市の考え方	(案)の修正
第2章 川口市の子ども・子育てを取り巻く状況			
<p>1 統計データからみた人口・子ども人口の動向 2 子ども・子育てを取り巻く状況 3 子ども・子育てに関する実態と意向 (アンケート調査結果から) 各内容について、どのように計画に活かされているのか。 アンケート結果をどのように把握されているのか。 何を根拠に事業計画を立てられているのか。</p>	1	<p>事業計画の策定に当たりましては、保育所等の整備・利用状況など本市の現状とともに、子どもの人口動向等や、アンケート結果から各事業の利用状況や利用意向を把握し、これらを踏まえ策定した5年間における各事業の量の見込み・確保方策等の計画案を、有識者、民間団体や市民の代表者で構成する本市の子ども・子育て会議において検討を重ね、意見をいただきながら計画策定をいたしております。</p>	なし
<p>2 P. 32 ①父親・母親の就労状況のアンケート選択肢について「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に分けられた目的を教えてください。</p>	1	<p>国から必須項目として示された設問ですが、産休・育休・介護休業中である方の量(人数割合)を把握するためです。</p>	なし
<p>3 P. 34 「④放課後の過ごし方(5歳児限定)の希望」について6行目「留守家庭児童保育室(学童保育)の利用意向は半分近くになっています。」とあるが、アンケート当時では、留守家庭児童保育室の利用対象者が小学1～3年生と限定されていた。小学1～6年生に対象が拡大されるため、それが周知・認知されるとアンケート結果が変わるのではないかと。</p>	1	<p>ご指摘のような可能性は十分に考えられるところですが、こうした将来ニーズを把握するアンケート調査という枠組みの中で、その結果についてはそうした可能性も加味しながら検討しています。しかしながら、それがどの程度の差異として表出するかについての判断は困難であり、一定の限界があるものと考えております。</p>	なし
<p>4 P. 36 「利用状況 ⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放」について利用している人が34%に上っていることは、その必要を示しているといえます。別の子育て支援施設を新設するよりも身近にあって利用しやすく、保育士の配置を増やすことで実施可能な園庭開放を支援計画の一つに取り上げてもらいたい。</p>	1	<p>いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。</p>	なし

第4章 量の見込みと提供体制				
1	「川口市子ども・子育て支援事業」を実施することで、市内に流入する子育て世帯が、増える可能性がある。その可能性も想定された上での見込み量なのか。その可能性は低いと想定された見込み量なのか。	1	子ども・子育て支援事業計画は、各自治体において地域の状況等を踏まえ実施することとされており、近隣市におきましても同様の取組が開始されますので、考慮すべき一定の転入者数に結びつくまでの効果の有無につきましては、今後の動向を見極める必要があると考えております。なお、人口の増加が見込まれることとなった際には、必要に応じて計画の見直しが必要と考えています。	なし
2	保育所・幼稚園をすべて子ども園にした方がよい。	1	幼保連携型認定子ども園につきましては「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」に基づき「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」を目的としております。 また、保育所、幼稚園におきましても「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」に基づき、施設の形態に応じた特色のある運営を行っております。 今後につきましては、認定子ども園の整備を図っていくとともに、保育所、幼稚園での教育・保育の質の向上にも努めていきます。	なし
3	保育所の数が足りていない。認可外保育施設など含めると賄えると思うが、保育料や保育の質に大きな差があると感じる。認可保育所（幼稚園、認定子ども園含め）を増設してほしい。	1	保育所の整備につきましては、平成27年4月に新たに11施設の開設を予定しているところです。今後につきましては、川口市子ども・子育て支援事業計画に基づき整備を図って参ります。	なし
4	P. 70～P. 74表で、前年度との差分を記載すると、各地域における増減が分かりやすくなると思う。	1	ご意見のようなこともあると思いますが、出来るだけ煩雑さを避け見やすいようにいたしました。	なし

5	<p>P. 78 放課後児童クラブの量の見込みについて アンケート当時では、留守家庭児童保育室の利用対象者が小学1～3年生と限定されていた。小学1～6年生に対象が拡大されるため、それが周知・認知されると量の見込みが変わり不足する恐れが出てくるのではないか。</p>	1	<p>ご指摘のような可能性は十分に考えられるところですが、こうした将来ニーズを把握するアンケート調査という枠組みの中で、その結果についてはそうした可能性も加味しながら検討しています。しかしながら、それがどの程度の差異として表出するかについての判断は困難であり、一定の限界があるものと考えます。</p>	なし
6	<p>放課後児童クラブ 朝の学童の導入、終了時間の延長、長期休暇時の学童時間を長くしてほしい。</p>	3	<p>いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。</p>	なし
7	<p>P. 82 病児・病後児保育事業について 「量の見込み」「確保内容・時期」の算出根拠を掲載してほしい。</p>	1	<p>病児・病後児保育事業につきましては、アンケート調査の利用状況や利用意向を把握し、その結果や現状などを踏まえ量の見込みを算出し、確保内容や時期につきましては、5年の期間内で見込み量を確保する計画を立て、有識者や民間団体及び市民の代表者で構成する子ども・子育て会議の意見をいただきながら策定を進めております。こうした経緯や計画書の煩雑さを避けることから、そうした根拠までは計画書に掲載しておりません。</p>	なし
8	<p>病児・病後児施設を早急に増設してほしい。 また、早朝・延長も検討してほしい。</p>	1	<p>病児・病後児保育事業の開設には、医療機関の協力が不可欠であること、また施設の改修等もあるため一定の期間が必要となることから、5年の期間内で見込み量を確保する計画を策定しております。また、早朝・延長につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。</p>	なし

第5章 総合的な施策の展開				
1	ワークライフバランスを推進する	1	川口市男女共同参画計画と整合性をとりながら推進します。	なし
2	P.96 「(1)すべての家庭の子育て支援」14行目、「在宅の子育て家庭を含むすべての家庭及び子どもを対照とする地域の子育て支援拠点を整備する」と記載されているが、乳幼児のいる世帯が多いとの調査結果もあるため、乳幼児が利用できる公園の整備や保育所の園庭開放も必要。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
3	P.100 「(1)子育て・子育て参加の意識啓発と実践」14行目、「女性が働きやすく」を「男女が働きやすく」という表現に (理由) 働きにくい環境は、男女ともに同じ。また、妊娠等が理由で「女性が働きやすく」という表現になっているのであれば、男性の方が育児に参加し辛く、職場と家庭を両立し難い社会のため	1	「男女が働きやすく、協力して家庭を築き」に変更します。	あり
その他				
1	英語は世界共通語です。英語教育を子ども園・小学校低学年から始め、遊び感覚で学ばせてあげたら、世界で通用する日本人が育つと思います。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
2	子どもを産みやすい、子育てをしやすい環境づくりをする。 ①医療費は中学校まで無料 ②子どもを産んでからも職場復帰をできるシステムをつくっている会社への支援 ③男性の育児休暇をキャリアアップとして推進している会社への支援 ④男女平等のもとワークライフバランスを保ち、定時退社、育児・家事の平等な分担を推進	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし

3	保護者の方に子育て・教育に関心を持っていただき、学校と家庭で連携して楽しい教育を進めるため、市として保護者向けの子育て・教育講座を開くと、市の教育が一層深まると思う。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
4	学校、保護者、児童・生徒、地域の方々がみんなで「キャリア教育」を認識して進めば、間違いなく「生きる力」をずっと持ち続ける川口っ子が育つはずです。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
5	市内の学校は、すべて「学校力」をつけ、子どもたちに確かな学力をつけさせてほしい。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
6	少子化を抑制する直接的な施策があっても良いと思う。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
7	認可・家庭保育・認可外など全体を通して、保育士の教育・保育プログラムの指導などをもっとしてほしい。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
8	同じ時期に保育所に通っていると、2人目以降の保育料が優遇になりますが、この制度を年の差兄弟にも利用できるようにしてほしい。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
9	保育士が生涯の職になるよう、給料面や福利厚生をもっと市がサポートすべき。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
10	基本理念そのものは良いが、より具体的にどのような保育内容にするのか、保育士・保護者を含めて議論し決め、実践に取り組んでもらいたい。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
11	基本理念を活かす上で、必要な設備・備品・保育士の確保、休職のあり方などについて、なんら触れていない。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
12	新設保育所について、市民が実際に利用できる保育料であるのか不明。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし

13	新設保育所について、保育士の待遇が悪いため辞めたり、やり手がないなどの例を聞きます。公立保育所水準の待遇を保証するのか。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
14	新設保育所について、公設公営の方向がないようですが、子育て支援の責任は自治体にあるのですから、全てを民間に任せるのではなく、公立公営をせめて半数確保すべき。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし
15	現在の保育所数と今後新設予定の保育所数を合計すると104施設になります。この全てに、基本理念が活かされるよう保育することを指導する体制が明らかでない。	1	いただいたご意見につきましては、今後の行政運営上の参考とさせていただきます。	なし